

データ利活用・EBPM支援等業務仕様書

データ利活用・EBPM支援等業務(以下、「本業務」という。)の委託事業者が行う業務の内容及びその範囲等は、この仕様書(以下、「本仕様書」という。)に定めるところによる。

1 委託業務名

データ利活用・EBPM支援等業務

2 委託期間

契約締結日から令和7年3月31日(月)まで

3 目的

2020年12月25日に「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」が閣議決定、同日、「自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」が策定され、「行政サービスにおけるデジタル技術やデータ活用による住民の利便性向上」、さらには、「デジタル技術やAI等を活用した業務効率化により人的資源を行政サービスの更なる向上につなげていく」ことが求められている。

本市においても、これらの趣旨を踏まえ、令和5年度～令和7年度の実行期間とした「滝川市DX推進計画(以下、「DX推進計画」という。))」に基づき、DX推進を行っていくこととしている。

本業務は、本市の主要事業を対象としたデータ分析に基づく政策立案(EBPM)を実践するモデル事例の構築および職員が自らEBPMに取り組むことができる仕組みの構築を行うとともに、EBPMの概念や政策運営手法を庁内に浸透・定着させていくための支援等について、公募型企画提案方式により最適な事業者を選定するものである。

4 業務内容

(1)業務の概要

EBPMの実施プロセスの庁内モデルとなる事業を選定するとともに、関係職員参画の中でモデル事例の構築を実践し、EBPMの概念や政策運営手法について、庁内に浸透・定着を図っていくための支援等を行うものである。

なお、令和6年度中にデータ収集や分析が十分に行えないものについては、令和7年度以降、職員が自ら取り組むことができるよう、仕組みの構築を行うものとする。また、事業実施中や実施後において、定期的な効果測定を継続的に行っていくような仕組みづくりについても構築するものとし、本市が抱える課題や主要事業等の現状把握・対象事業選定、事業ヒアリング・分析、データ分析ロジックモデルの明示化・実践、効果予測・測定、プロジェクト進行の支援等を行うものである。

(2)業務の詳細

①基礎調査・対象事業の選定支援

・本市における主要事業(主に令和7年度以降を想定)に関する概要調査、本市の課題調査等を実施し、特にEBPM実践の効果が大きいと認められる事業を選定すること(4事業程度)。

・調査をスムーズに行うための説明会などについても必要に応じて実施すること。

※提案書作成の段階で対象事業選定を求めるものではない。

※他自治体での事例や保有しているノウハウを活用し、効率的・効果的な調査実施を行うこと。

※ヒアリングや説明会等について、オンライン開催も可とするが、集合形式での開催の方が効果的な場合等、必要に応じて対面での開催を行うこととし、市側から要望がある場合には対応すること。

②対象事業の現状把握・分析

- ・対象事業について担当課への詳細ヒアリングを実施し、現状把握や課題分析、事業内容、ターゲット、想定する効果等を確認すること。
- ・ヒアリングをスムーズに行うための説明会や研修などについても必要に応じて実施すること。
- ※他自治体での事例や保有しているノウハウを活用し、効率的・効果的な現状把握・分析を行うこと。
- ※ヒアリングについて、オンライン開催も可とするが、集合形式での開催の方が効果的な場合等、必要に応じて対面での開催を行うこととし、市側から要望がある場合には対応すること。

③データ分析のロジック提案

- ・現状及び課題から目指すべき将来の姿までの一連の流れをロジックモデルとして明示すること。
- ・対象事業で実施する取組(活動)、それにより生じる影響及び結果(アウトプット)の整理、課題の解決や目指すべき将来の姿(アウトカム・インパクト)に到達しているか判定可能なロジックモデルとすること。
- ・ロジックモデルに論理的飛躍や矛盾が無いか確認及び検証を行うこと。
- ※ロジックモデルは職員が管理できる水準のものとし、高度で複雑なものは求めない。
- ※関係課職員が検討過程に関与しながら進めること。

④評価指標(KPI)設定

- ・客観的な評価尺度に基づく定量評価が可能となるような評価指標の検討・提案を行うこと。
- ・本市の現状、課題及び目指すべき将来の姿を可能な限り想定可能なデータで補足すること。
- ・定量的なデータを取得することが難しい場合には、代替データまたは定性的な評価の活用を検討すること。
- ・ロジックモデルに基づく評価指標(アウトプット指標、アウトカム指標)を設定すること。

⑤データ取得及び分析

- ・ロジックモデルの明示化及び評価指標の検討に当たって、保有データの確認や必要なデータ取得、分析を行い、事業内容及び目標値の見直しが必要か検討すること。
- ・データの取得方法や取得頻度についても検討すること。
- ・データ取得が困難な場合は、代替データの取得や評価手法の変更について検討すること。
- ・分析結果や施策の効果については、分析ツール等を用いた可視化を行うこととし、RESAS等の活用可能なツールのほか、必要に応じて汎用BIツールの利用など、継続的な分析を行えるようにすること。
- ・職員が資料作成できるような効果的な可視化方法についての助言、支援を行うこと。
- ※将来的に職員が自ら実施できるよう関係所管課が参画しながら進めること。
- ※データ取得・分析にあたり、受託者は個人情報を取り扱わない想定とする。

⑥分析結果等の整理

- ・上記①～⑤の業務内容、それらを踏まえた事業提案等、本業務の成果を示した報告書(概要版および詳細版)を作成し報告すること。

⑦EBPM 自走化支援

- ・本業務については、EBPM の概念や政策運営手法の庁内への浸透・定着を目的の一つとしており、職員が次年度以降についても継続的に自主的に取り組みを行えるように進めること。
- ・自走化に向けたアドバイスや研修実施等についても必要に応じて支援を行うこと。
- ・各工程については、関係課職員が過程を理解しながら検討・分析の実践に参画していけるように取り組むこと。

⑧プロジェクト管理

- ・本業務の進捗管理および定例会の開催(月次・オンライン可)、関係課で構成される部会等の開催管理(関係課が集合した形での研修等の実施や共通課題のヒアリング、報告会等を想定)、報告資料作成・説明などの実施を行うこと。

なお、業務内容に記載のない事項であっても、本業務の目的を実現するために効果的と考えられるものについては、積極的に提案すること。ただし、経費は提出する見積額に含めること。

5 成果品の提出

受託者は、本業務完了後、速やかに成果報告書(本文・概要版)を作成し、業務完了報告書と併せて滝川市に提出すること。成果報告書については、本仕様書の4の業務内容ごとの成果に加え、執行過程や経過が明確になるよう取りまとめること。

(1) 納入方法・納入期限

- ・成果報告書(本文)(A4カラー版2部、WORDまたはPPT形式によるデータ納品)
- ・成果報告書(概要版)(WORDまたはPPT形式によるデータ納品)
- ・会議開催や協議に伴う議事録
- ・その他関係資料(調査資料、業務フロー等)(ExcelまたはPPT形式によるデータ納品)
- ・最終納入期限は令和7年3月31日(月)とする。

(2) 納入場所

滝川市総務部総務課デジタル推進室(滝川市庁舎7階)

6 契約に関する条件等

(1) 成果品の利用(二次利用等)

本業務による成果品の著作権は滝川市に帰属するものとし、また、滝川市は本業務の成果品を自ら使用するために必要な範囲において、随時利用できることとする。

(2) 秘密の保持

受託者は、本業務(再委託をした場合を含む。以下同じ)を通じて知り得た情報を秘密情報として扱い、契約の目的以外に利用し、又は第三者に提供してはならない。また、本業務に関して知り得た情報の漏洩、滅失、毀損の防止、その他適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。契約終了後も同様とする。

(3) 費用負担

本業務に係る一切の経費は、委託金額に含まれるものとする。また、受託者がライセンス料等が発生するアプリケーションの利用を希望する場合は、その費用は本市分も含めて受託者が負担すること。

7 スケジュール

スケジュールについては協議の上決定するが、スケジュール目安は以下のとおり。

7月～8月	基礎調査・対象事業の選定支援
8月～9月	対象事業の現状把握・分析
9月～11月	データ分析のロジック提案・評価指標(KPI)設定・データ取得及び分析
11月	分析結果(概要)提出
12月～2月	必要に応じて調査・分析等
2月	分析結果(詳細)提出
3月	最終報告

※11月の分析結果(概要)については、令和7年度予算計上に活用していくものである。

8 その他

- ・受託者は本業務における滝川市の目的の達成その他の施策との整合を図りながら業務を行うこと。
- ・本業務に必要な経費(旅費・交通費等)は、委託金額に含まれるものとする。
- ・本業務の一部を再委託する場合は、滝川市と協議の上、その承認を得なければならない。
- ・本業務を円滑に遂行するため、滝川市は受託者に対して業務の進捗状況について報告を求めることができる。
- ・納期の遅れや仕様に反し、滝川市あるいは第三者に不利益のある場合には誠実に対応すること。
- ・本仕様書に定めない事項、疑義等があった場合については、必要に応じて滝川市と協議を行い定めるものとする。